



第83号 2021年 10月 1日

発行所/ 神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

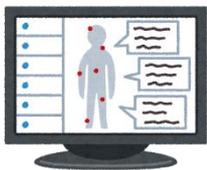
住み慣れた地域で自立した日常生活を継続するために…

看護小規模多機能型居宅介護事業所
マリアの家 管理者 大石美幸

新型コロナウイルス感染拡大で、一年延期となった東京オリンピック・パラリンピック 2020はたくさんの感動を残して閉幕となりました。マリアの家もイベント等が縮小される中、利用者様は57年ぶりに日本で開催されたオリンピックに、歓声をあげて応援していました。

昨年から、新型コロナウイルスの猛威に翻弄され、不安や我慢など私たちの生活も大きく変化しました。マリアの家でも利用者様のテーブルにアクリル板を設置、こまめな換気と距離をとり三密回避など、利用者様のご利用時の環境も変化してきました。石鹸による手洗いやアルコールによる手指衛生等、日々感染防止対策を徹底しています。

令和2年4月に看護小規模多機能型居宅介護事業所へと転換し、1年半が経過しました。看護小規模多機能とは、介護度が高く医療が必要な高齢者に対応するために、小規模多機能のサービスに加え、必要に応じて看護師による医療行為や「訪問看護」を提供しています。また、体調を崩して入院しその後状態が安定したため退院となったが、まだ家族やご本人に不安がある時などは、マリアの家で「泊まり」を利用してご自宅へ帰ることも可能です。ご自宅での生活を長く継続していただくために、「通い」「泊まり」「訪問看護」「訪問介護」をうまく組み合わせて、サービスを提供させていただいています。また、外来・ホスピス・介護医療院・訪問看護ステーションとも連携をとっています。何かお困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。



電子カルテの導入について



医事課主任 高村愛夏

当院では現在紙カルテを使用しています。病院で働き始めてから病院受診に行くと、この病院は電子カルテを導入しているのか・・・と、どちらのカルテを使用しているか気になるようになりました。

1970年代ごろから、少しずつ医療現場のIT化が進んできました。最初に使われ始めたのはレセプトコンピュータ（診療報酬明細書を作成するソフトウェア）で、それに続いて診療支援ソフトが登場してきました。そして1999年に正式に電子カルテが誕生します。

電子カルテの普及率は、400床以上の病院で7割程度、診療所では3～4割程度といわれています。医療機関全体での電子カルテ普及率は4割程度となっています。

来年度、当院でもIT化を目指し、電子カルテを導入する事が決まりました。私は電子カルテを使用することがないので、電子カルテの仕組みからメーカーとの打ち合わせが始まりました。

現在は受付された方のカルテを探し、処方箋を印刷し外来にカルテを持っていく、という流れです。しかし、電子カルテを導入すると、パソコン上での処理となり、今までの業務が大幅に短縮されます。また、パソコン画面に受付後の経過時間が表示されるため、患者様をお待たせしすぎているか確認できます。更に、電子カルテを通して医師をはじめ、職員全員が患者様の情報を共有できるため、他部署との連携が取りやすくなります。

これから決めなくてはならないことが多く課題もありますが、電子カルテ委員会のメンバーと協力し、効率よく、スムーズな診療を目指していきます。



栄養カンファレンスについて



栄養課 管理栄養士 鈴木一枝

カンファレンスとは「会議・協議」を意味する用語です。介護の現場では、医師やケアマネジャー、サービス事業者などの援助者が集まって行う会議のことを指します。

神山復生病院介護医療院では、毎週水曜日 13:30～14:30月に3回 合同カンファレンスの中で、栄養カンファレンスを行っています。参加者は、医師、看護師、介護福祉士、ケアマネジャー、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士です。主に患者様の食事について本人の状態の変化や、新しい課題や問題点はないか、今後の方針や注意点等を話し合っています。多職種で情報交換をすることによって、患者様一人ひとりについて、今まで知らなかった新たな発見があり、より理解を深めることができます。今、最優先すべきことは何かを導き出す重要な会議となっています。

「食べることは生きること」人は当たり前のように食べて生活していますが、この高齢化社会の中で、認知症をはじめ、様々な病気を抱えている患者様が、食べ続けていくということは、決して容易なことではありません。「人に良い」と書いて食。食事は人にとって良いものでなくてはいけないことが分かる証しの1つです。病院長が大切にしている「最後まで口から食べる」「好きなものを好きなだけ食べる」を達成させるために、栄養課では今後も委託会社と協力し、安全で美味しい、その方のニーズに沿った食事の提供に努めていきます。栄養カンファレンスをより有意義なものにするためにも、管理栄養士として、患者様の要望や悩みを幅広く聞き、解決することのお手伝いができる人となれるよう努力しています。また、多職種との連携を密にし、患者様にとって、食べることが「生きる喜び」となるように、栄養管理に反映させていきたいと思っています。ご協力よろしくお願いたします。





胃内視鏡検査の再開について

事務部長 森田秀一郎

当院の胃内視鏡検査につきましては、令和3年4月より休止しておりましたが、9月より検査を再開することになりました。当院の検査は、経鼻（鼻からの検査）でも行いますので、患者さんへの負担も少なく実施できます。また、御殿場市の胃内視鏡検診及び胃部X線検診の二次検診も対応いたします。検査は予約制となりますので、下記までご連絡下さい。

担当医師：北村隆信医師（消化器内視鏡専門医）
予約可能日：毎週火曜日（午前中）
予約TEL：0550-87-0004

車いすの歴史から学ぶ、患者さんにとっての安楽とは



身体拘束廃止推進委員会 杉山美貴子

車いすに患者さんを長時間座らせていることは、身体拘束になるのではないだろうか？こんな声が身体拘束廃止推進委員会の中であがりました。そんな時、作業療法士の方から「実は、車いすは元々物を運ぶためにつくられたものである。そのため、長時間座るための仕様にはなっておらず患者さんに苦痛を与えてしまっている。」という指摘を受けました。そこで、職員が患者さんの苦痛を理解するために、車いすに1時間座る体験をし、作業療法士の方には車いすの歴史やその構造、また適切な使用方法について講義をしていただくことにしました。

体験談からは「非常につらかった。動きたい衝動にかられた。1時間がとても遅く感じた」という声があがり、車いすでの長時間座位の苦痛を少しですが感じる事ができました。また、車いすの講義からは、標準型車いすが実は70年前から仕様が変わっていない、という衝撃的な事実も知ることができました。

これらのことから考えても、車いすでの長時間座位は、まさに身体拘束にあたる事が十分理解できました。身体拘束廃止推進委員会は、身体拘束ゼロ宣言にむけて更に学びを深めていきたいと思えます。今後も皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。



今回のおすすめ

「さいごはおうちで」 著書永井康徳



主婦の友社 1485円

私のおすすめは、ねこマンガ 在宅医たんぼぼ先生物語 「さいごはおうちで」という本です。著者は、愛媛県松山市で在宅医療専門クリニック「ゆうの森」を開業している、たんぼぼ先生こと永井康徳先生です。

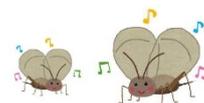
在宅医療とはどんなものなのか。住み慣れた家で最期を迎えるその日まで、患者さんをどう支えていくのか。たんぼぼ先生が、実際お看取りをされた患者さんとそのご家族とのエピソードを紹介しながら、とても分かりやすく書かれています。

在宅医療はもちろん多職種連携についても改めて勉強になる一冊です。

（紹介者 外来 木村真由美）

外来担当表

心療内科は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	内科 心療内科(飛澤)	内科 (北村)	内科 皮膚科(石地)	内科	内科 心療内科(飛澤)	内科 (第2・5 岡部) (第1・3・4 中尾) 心療内科(飛澤) 皮膚科	休診
午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診	

皮膚科外来予定表

11月以降の診察はHPにてお知らせいたします。
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。



太田有史 医師	10月 2日(土)
前田萌香 医師	10月 9日(土)
太田真由美医師	10月16日(土)
福地 修 医師	10月23日(土)
細井美都 医師	10月30日(土)
石地尚興 医師	10月 6日(水)・13日(水)・20日(水)・27日(水)

毎週水曜日の皮膚科外来について

令和3年4月より毎週水曜日午前に皮膚科外来を行っていますので、
皆さん是非ご利用下さい。



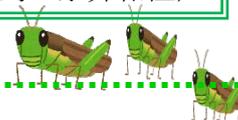
インフルエンザワクチン及びコロナワクチン接種について

今年も10月1日よりインフルエンザワクチンの接種を開始します。当院では、16歳以上を対象に祝日を除く月～金の午前中で接種を行います。今年度はインフルエンザワクチンの入荷時期が遅れるため、例年よりも遅い時期でのご予約になることが予想されます。また、コロナワクチンのご予約も引き続き承っております。

コロナワクチンは10月より火曜日にも可能となり、月・火・水・木の午後2時から接種を行います。両ワクチンとも完全予約となりますので、ご希望の方は当院までご連絡下さい。

なお、コロナワクチンとインフルエンザワクチンは、14日以上の間隔をあけて接種する必要がありますので、ご注意下さい。

(薬局 永井祐佳)



編集後記

秋になると近所の田んぼで家族みんなでイナゴを捕まえて佃煮にして食べるのが毎年恒例になっています。

免疫力アップ栄養たっぷり夏バテした体を元気にしてくれる気がします。ぜひ食べてみてください。まだまだコロナ禍で不安な日々が続いていますが、皆が安心して暮らせる当たり前の日常が一日も早く訪れるように願うこの頃です。 次号もお楽しみに！

